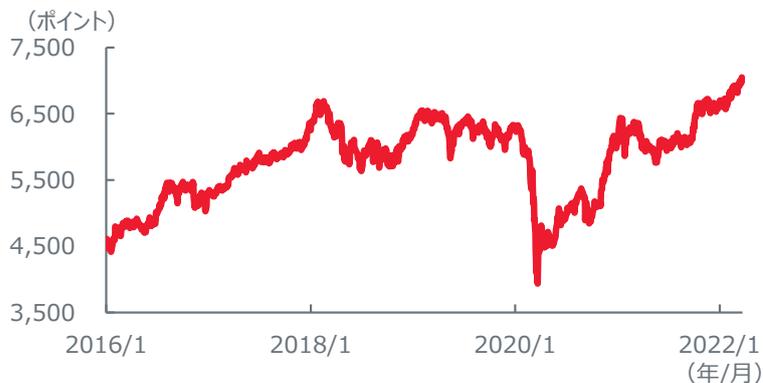


(対象期間：2022/3/21～2022/3/25)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年3月25日)

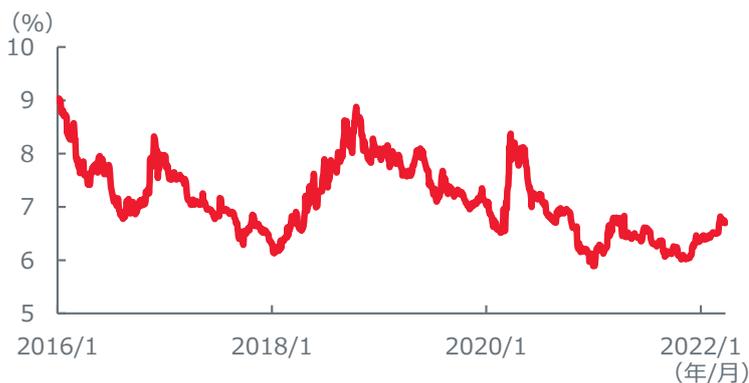


【株式市場】

週初のインドネシア株式市場は高値でもみ合いとなりました。海外渡航者の隔離を免除するとの発表が下支え材料となりました。24日は、不動産関連株やコモディティ関連株が堅調となり上昇し、引け値ベースで史上最高値を更新しました。特にニッケル価格の上昇を受けてニッケル関連株が堅調となりました。外国人投資家からの資金流入が続く中、週末にかけては銀行株を中心に国内投資家の利益確定売りがみられ反落しました。株式市場は前週末比上昇しました。

2022/3/18	2022/3/25	変化率
6,954.97	7,002.53	+0.68%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年3月25日)



【債券市場】

22日は米連邦準備理事会（FRB）のパウエル議長のタカ派的発言により米国金利が大幅上昇となった流れを受けて、インドネシアの債券利回りも上昇（価格は低下）しました。同日行われたイスラム国債の入札は前回を下回る応募額となり低調でした。また、政府は今年初めてのグローバル米ドル建て債券（10年と30年）を発行しました。23日は引き続き外国人投資家の資金流出がみられたものの、10年債を中心に国内投資家の積極的な買いがあり、利回りは低下しました。週末にかけては米国債の金利上昇の一般感もありインドネシアの債券利回りは低下しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

2022/3/18	2022/3/25	変化幅
6.724	6.697	-0.027

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年3月25日)



【為替市場】

22日はパウエル議長のタカ派的発言を受けて他の新興国通貨が対米ドルで大幅下落となりましたが、コモディティ価格の上昇を受けて、外国人投資家の資金がインドネシア株式市場に流入し、ルピアは堅調となりました。その後は利益確定売等を背景に株式市場が下落したことを受けてセンチメントが低下し弱含みとなりましたが、週末にかけては買い戻しの動きが見られました。ルピアは前週末比対米ドルではほぼ変わらずとなりました。一方、対円では円安が進行したため大幅に上昇しました。

2022/3/18	2022/3/25	変化率
0.8304	0.8485	+2.18%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。